

ノリ海況速報 第2報 (2020-2)

令和2年10月7日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 10/5：内湾(ふさみ丸) 10/5：内房北部(ふさみ丸)

【水温・塩分の状況】

- ・表層水温は内湾北部が22.5～22.9℃、盤洲周辺が22.8～23.4℃、富津周辺が22.6～22.7℃でした。表層塩分は内湾北部が29.3～30.5、盤洲周辺が29.1～30.1、富津周辺が30.2～32.4でした(図1)。
- ・富津地区ノリ漁場への、沖合水の強い波及は見られませんでした(図1, 2)。

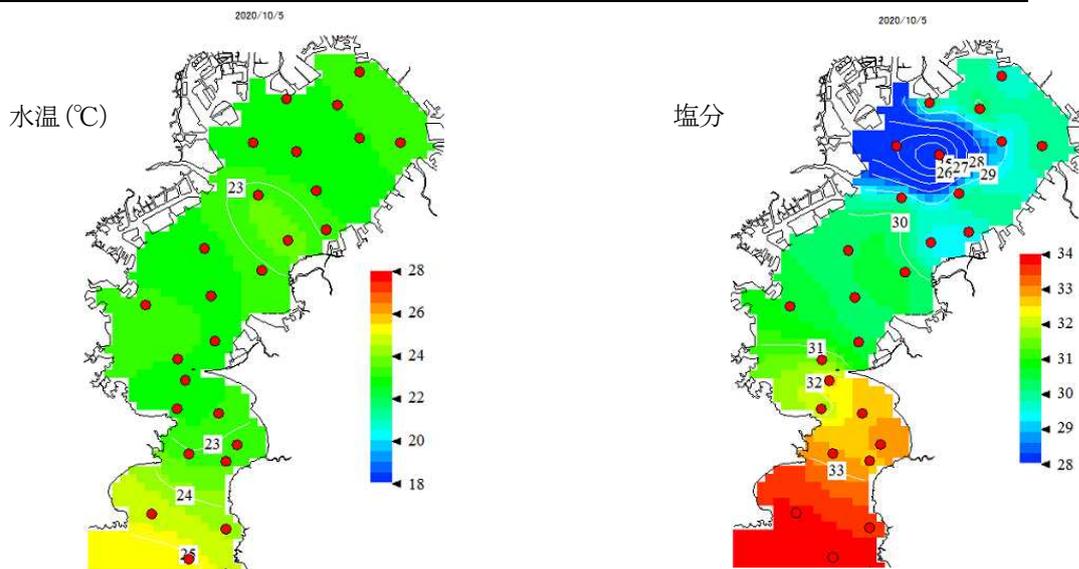


図1 表層の水温・塩分(令和2年10月5日)

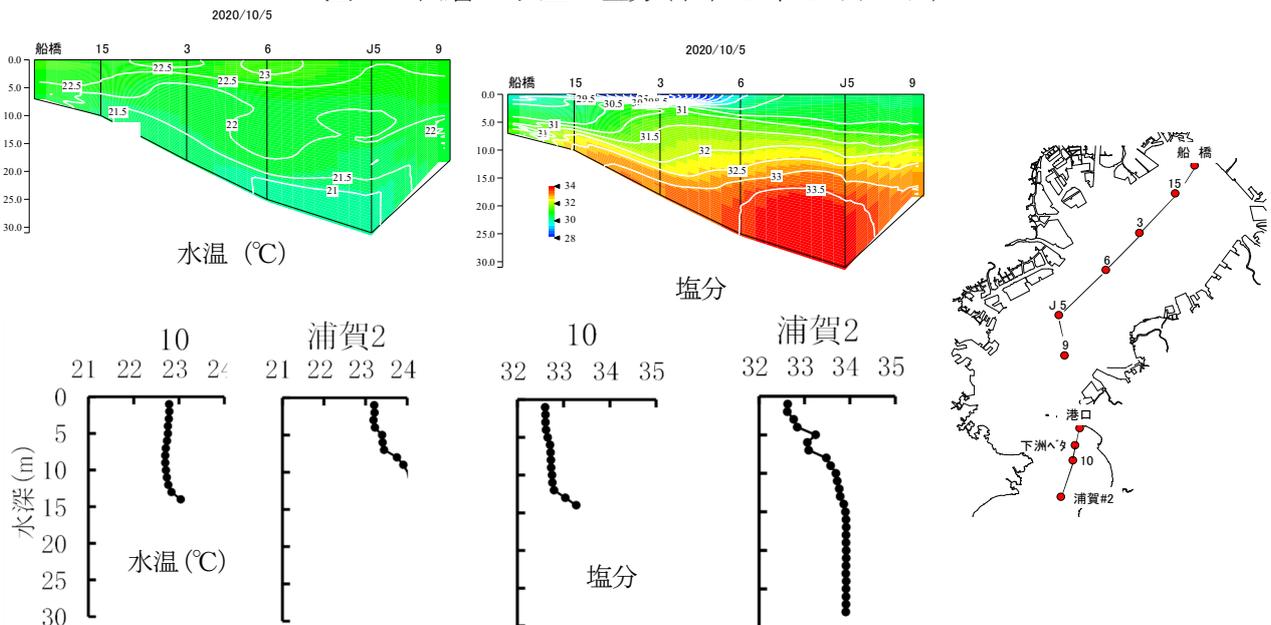


図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(令和2年10月5日)
 上：内湾(縦断面)、下：内房北部(グラフ)、右：調査ライン

【 赤潮 ・ 栄養塩の状況 】

- ・ 赤潮（酸素飽和度 150 %以上、透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上）は羽田沖～浦安沖及び袖ヶ浦沖で見られました。
- ・ 内湾及び内房北部のプランクトン優占種は小型の珪藻キートセロス、スケレトネマ、透明度は 0.6～7.0 m でした。
- ・ 内湾及び内房北部の栄養塩は窒素が内湾北部で $5.4 \mu\text{g/L} \sim 175.8 \mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺が $6.1 \mu\text{g/L} \sim 11.2 \mu\text{g/L}$ 、富津周辺が $8.2 \mu\text{g/L} \sim 52.8 \mu\text{g/L}$ 、リンが内湾北部で $0 \mu\text{g/L} \sim 4.8 \mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺が $2.9 \mu\text{g/L} \sim 7.6 \mu\text{g/L}$ 、富津周辺が $0.2 \mu\text{g/L} \sim 10.5 \mu\text{g/L}$ でした（図 3）。
- ・ ノリ漁場周辺では、窒素、リンともにノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを下回りました。
- ・ 赤潮の発生により、表層の栄養塩が吸収され、著しく低下したと考えられます。

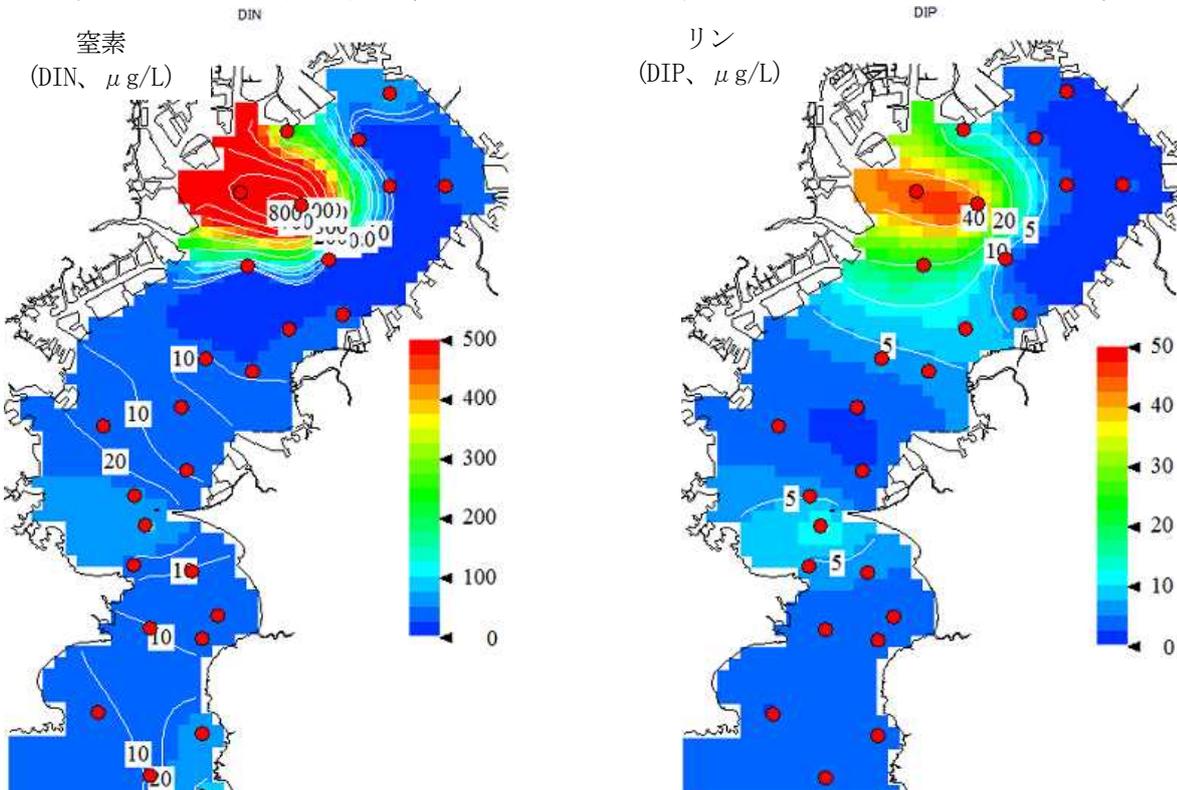


図 3 表層の栄養塩濃度の分布(令和 2 年 10 月 5 日)

(参考)

高色調のノリの生産に必要なレベル

窒素 $110 \mu\text{g/L}$ リン $8 \mu\text{g/L}$

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル

窒素 $90 \mu\text{g/L}$ リン $5 \mu\text{g/L}$

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html